

期 日	準備経過及び事業内容(主要事項)
12月9日	式典運営・式典音楽・集団演技小委員会合同会 開催 各小委員会の連絡調整及び総合開会式次第について協議
12月24日	会場地市町村事務担当者会開催 53全国高校総体及びびりハール大会に係る予算措置について協議
1月24日	53全国総体ニュース第4号発刊、配布
2月15日	選手強化コーチ会開催 強化指定による強化策及び指導方法等について協議
2月22日	選手強化専門委員会開催。 52年度選手強化基本方針、指定チーム・指定選手、強化策等について協議
3月7日	全国高体連自転車競技専門部長来県 ロードコースについて協議
3月24日	競技専門委員会開催 52年度事業計画、役員養成事業計画等について協議

(2) 大会日程と競技予定会場

大会日程は全国高等学校総合体育大会開催基準要項により、夏季大会は8月中となっており、本県は別表のように総合開会式を8月1日に挙行し、8月2日より競技を開始する予定である。

競技会場については、会場地市町村、種目団体等と種々協議を重ね、競技会場地選考方針に基づき51年11月の福島県準備委員会常任委員会において別表のとおり決定した。

なお自転車競技のロードコースについては、道路事情の関係もあり、昭和52年度後半に改めて道路構造、交通量等を勘案して決定する予定である。また、ヨット競技については、当初青森県で開催する予定であったが開催不可能となり、全国高等学校体育連盟において他地区開催について検討中である。

[別表1]

(3) 施設整備事業

昭和51年度の施設整備事業は次表のとおりである。

施設名	整備内容
荻野漕艇場	艇庫新設、補修工事
会津女子高体育館	床張替工事
福島西女高体育館	床研磨1部張替、床金具取付工事
安積女子高体育館	床研磨1部補修、床金具取付工事

(4) 広報事業

昭和51年度広報事業は次表のとおりである。

刊行物	発行数	配布先
広報ポスター	2,000部	小学校、中学校、高校、市町村、庁内各課、運動具店、その他
広報ステッカー	1,500部	会場地中学校、高校、市町村等
53全国総体ニュース第3号	6,000部	中学校、高校、市町村、同公民館、庁内各課、その他
53全国総体ニュース第4号	9,000部	同上

(5) 役員養成事業

大会の運営にあたる本県役員の資質の向上をはかり、あわせて審判員を養成し本県スポーツの資産とすることを目的に、次のとおり競技役員養成事業を実施した。

事業名	実施種目数	実施人員数
役員養成講習会	19種目	1,307名
審判中央派遣	12種目	60名

(6) 選手強化事業

本大会開催にあたり、中・高校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上を図り心身ともに健全な生徒を育成し、もって本県スポーツの飛躍的な発展を図るとともに、開催県の意気を示し、県民の期待に応えるため、次のとおり選手強化事業を実施した。

	事業名	実施種目数	実施人員数
中学生	スポーツ教室	17種目	1,666名
高校生	スポーツセンター校を中心とする合同練習	23種目	2,562名
	1年生中央強化会	24種目	1,768名
	新人強化	24種目	1,720名
	県外遠征	24種目	698名